

【工業:工業化学科】

平成25年度 指導と評価の年間計画(シラバス)

盛岡工業高校 全日制課程

教科		工業技術基礎(化学)	単位数	3	学科・学年	工業化学科1年	担当者	工業化学科職員全員					
使用教科書		工業技術基礎(実教出版)			副教材	各担当毎実験補助テキスト							
到達目標(具体的な取り組み【評価基準を念頭に置いた指導上の留意点】)										評価の重点			
工業に関する基礎的技術を実験・実習によって体験させ、各分野における技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解させるとともに、工業に関する広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を育てる。 ・環境に配慮した技術について、身近な事例を通して、その意義や必要性について理解させる。 ・質を変化させる加工について、化学変化による質の変化の基礎的な技術を習得させる。 ・基礎的な分析及び測定技術について、具体的な事例を通して、生産に関わる基礎的な分析及び測定技術の重要性について理解させる。										関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
学期	月	実習名(班別)		主な学習活動・評価のポイント			評価方法		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
前期中間	4	電卓の指導 授業・実習で使用する電卓の指導		電卓の使用 計算技術検定の指導			報告書			○	○	○	
	5	定量分析		中和滴定 食酢中の酢酸の定量			実習態度		○	○	○		
		6	実習への取組状況、意欲的な実習態度、レポートの書き方、基本的な実習操作、実習結果の処理、実習のテストによる理解度を評価する。			出席		○					
前期末	6	基礎化学Ⅰ		ガラス細工 テストターの製作			報告書			○	○	○	
	7	実習への取組状況、意欲的な実習態度、レポートの書き方、基本的な実習操作、による理解度を評価する。			実習態度		○	○	○				
	8	出席		○									
	9												
後期中間	9	基礎化学Ⅱ		化学分析の基礎 1 ガラス器具 2 化学変化 3 密度測定 4 酸、塩基の性質 5 化学反応における物質の量的関係			報告書			○	○	○	
	10	実習への取組状況、意欲的な実習態度、レポートの書き方、基本的な実習操作、実習結果の処理、実習のテストによる理解度を評価する。			実習態度		○	○	○				
		11	出席		○								
学年末	11	定性分析		陽イオンの分属 1 属陽イオンの分析と基礎実験			報告書			○	○	○	
	12	実習への取組状況、意欲的な実習態度、レポートの書き方、基本的な実習操作、実習結果の処理、実習のテストによる理解度を評価する。			実習態度		○	○	○				
	1	出席		○									
	2												
	3	※ 4班でローテーションで実施する。											